

ガーナでそろばんプロジェクト 47号(2015年12月3日)

★ あの一番頑張っている子の足がほんの少しだけ遠のいてしまった…★

そろばん教室開室当時から頑張っただけで通いつけているデイビットとクレナムは現在中学3年生になります。珠算の級は3級、暗算の級はデイビットが3級、クレナムが4級になります。頑張っただけで通いつけているからその成果なのですが、実はこのところ2人の足がそろばん教室から遠のいていくことも否めませんでした。デイビットは3級の練習プリント30回分を過ぎたところから、遅く来たりまた休んだりすることが目立つようになりまして。やり直しだけで一日の練習時間が終わってしまいう時もあり、なかなか進まない事でやる気が無くなってしまったのか？という思いの中、私自身の思い当るところでは、4月5月頃、私の体調不良もあって通常の開室時間より早く閉めることが多々あり、閉めてから、そろばんを持って登室してくるデイビットに何度か謝ったことがありました。そうしたこと嫌になって教室から足が遠のいてしまったのではないかと。また9月に入り中学3年に進級したデイビットは今までと少し違い髪型を変えるなどお洒落に目覚めた中学生という感じがして、地道にそろばん教室に通うのがつまらなく思えてしまったのか？いろいろと足が遠のいた原因を考えずには居られませんでした。クレナムにおいては、今までも足が遠のき、父親である校長先生に言われて仕方なしに来たということも過去にあり、その繰り返しの中で今に至るので、また何かきっかけがあれば来るでしょうと軽い気持ちで思っていました。けれども、やはりデイビットにもクレナムにも、ここまで頑張ってきたのだから、中学3年生の終わりで来て欲しい。これからも検定に挑戦して欲しい。まだまだ皆勤賞だつてもらって欲しい。そんな思いの中、二人に再度そろばん教室に来て欲しいという思いから、十一月七日にアクラのメンズビックホテルで

開催された。日本祭りよさこい”に招待しました。もちろん、これまでがんばっているご褒美の意味も込めてのことです。当日、引率の校長先生と算数の先生に連れられて来た二人はととても緊張していました。私は、そんな二人を知り合いの日本人に“私の学校の生徒”と自慢して紹介しました。本当に自慢の生徒だからです。このアクラへの招待があつたことかわかりませんがデイビットとクレナムの十一月の出席率は良かったです。クレナムの3級プリント直しは、私から率先して指導しました。3級の小数点の入る乗算、除算は集中力が途切れるとなかなか正解になりません。なかなか進まないでいる停滞期を出来ない、嫌い、もういいやと思わせない指導も大切だと改めて痛感しました。なかなか進まないでいた中でも、十一月の終わりにクレナムが暗算4級の検定に合格しました。またクレナムはあと6回通えば150回の皆勤賞が待っています。デイビットはあと暗算3級練習プリント5回分終わらせると検定。またあと9回通えば175回の皆勤賞が待っています。皆勤賞は年内に間に合いそうありませんが、まだまだ続けていて良かったなと思えることが待っています。頑張っただけで欲しいものです。



協賛

トモエそろばん様